しばしょうがっこう

芝小学校

校名の由来

校歌♪百船千船入り通う東京湾にほど近く♪～の旧芝区にできた最初の学校として、地域・保護者の皆様から大切にされています。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	川原　哲郎
所 在 地	港区芝2-21-3
電話番号	3456-3072
HPアドレス	https://shiba-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/shibaeschool
交　　通	三田線　芝公園駅　徒歩3分
職 員 数	29名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	2	3	3	3	3	2	16
児童数	69	78	88	80	74	59	448

教育目標

－子どもたちの笑顔のために－

○やさしい子（豊かな人間性）
○よく考える子（確かな学力）
○げんきな子（健康・体力）

学校の沿革

明治12年	第一大学区東京府第二中学区第三十九番公立小学芝学校として開校
昭和22年	港区立芝小学校と改称
昭和53年	開校100周年記念式典挙行
平成元年	港区立竹芝小学校と統合
平成13・14年度	港区教育委員会研究奨励校
平成16・17年度	港区教育委員会研究奨励校
平成19年	港区教育委員会研究パイロット校
平成23年	スポーツ教育推進校
平成24・25年度	港区教育委員会研究奨励校
平成30年	開校140周年記念式典挙行
平成30・令和元年度	港区教育委員会研究パイロット校
令和５年度	開校145周年記念集会挙行

総合的な学習の時間

○各自の課題に応じた探究学習を進めます。
○各学年の年間テーマに取り組みます。

３年生　生き物図鑑をつくろう
　　進めよう！自然と共生プロジェクト
　　学校やまちの安心・安全を目ざして
４年生　よりよい社会へ
　　10歳を祝う会をしよう
５年生　港区がもし百人の村だったら
６年生　港区OMOTENASHIプロジェクト

学校の特色

○教職員全体できめ細かい指導を行います。
○花育・芝沖クルーズ等、地域の方々の御協力を得て様々な体験活動を取り入れています。
○異学年での交流活動である縦割り班活動を行います。
○芝シンフォニックブラス（4年生以上の希望者）による吹奏楽の体験、定期演奏会を実施します。

こんな学校を目指しています

地域の方々に愛される学校、保護者が「通わせてよかった」と思える学校、教員がやりがいを感じられる学校、子供たちが「学校にきてうれしい、明日も楽しみ」と思える学校を目指しています。

標準服

児童の声

○わくわくタイムや休み時間に、体育館や校庭、屋上、ボルタリングなどで思い切り遊べて楽しいです。
○外部の講師の方が来て授業をしてくれることが多く、いろいろなことを体験しながら学ぶことができます。
○歴史のある学校です。郷土資料室は、昔のものなどがたくさん展示されています。
○給食のメニューが豊富でとてもおいしいです。たくさん食べられるようになりました。
○図書館のイベントが楽しみです。たくさん本を読んで読書通帳をためていくのも楽しいです。
○地域の方々が行事などに積極的に参加してくださり、学校や私たちを大切に思ってくださっていることが感じられます。

クラブ活動の紹介

屋外球技、屋内球技、屋上、科学、囲碁・将棋、アート、タブレット、手芸、ゲーム、鉄道

保護者・地域の声

○校舎内がいつもきれいに清掃されていて、図工の作品などの展示も多く目を引かれます。
○制服姿の子どもたちを地域の方々が温かく見守ってくださっています。芝小の地域は、子育て安全地域です。
○学習環境に恵まれています。地域ボランティアの方々の協力の下、様々な体験活動ができます。
○学校行事や学校公開では、子どもたちが生き生きと活動している姿が見られ、毎回楽しみにしています。

特色ある教育活動

○豊かな人間性を育む
　異学年での交流活動（なかよし班活動）を通して、互いを愛おしむ気持ちを育成します。６年生には最高学年としての自覚も育みます。
　花育を通して、おもてなしや感謝の気持ちを育成します。
　ミニコンサートや図工作品の掲示を通して豊かな心を養います。
○確かな学力の定着
　モジュール学習の時間に漢字の基礎基本の定着を図ります。
　地域の学習環境を生かし、多様で体験的な学習活動を設定します。
　ICT教育を推進し、子どもたちの主体的な学習に繋げます。
○体力向上、健康の保持・増進
　記録更新を目指して、チャレンジジャンプ（長縄）に取り組みます。
　持久走に継続的に取り組みます。
　食育を推進し、献立のテーマ等から多様な食について学びます。

年間行事

1学期
入学式
道徳授業地区公開講座
６年生移動教室
＜夏休み＞５年生夏季学園

2学期
運動会
展覧会

3学期
書き初め会
６年生を送る会
卒業式

児童会活動の紹介

運営、放送、図書、飼育・環境、運動、保健、給食、ICT,広報、集会

校内研究主題

既習事項をもとに筋道立てて考えよりよい考えを見出す児童の育成
～数学的な見方・考え方を働かせる指導を通して～

PTA活動

○どの部も協力し合い、様々な活動に取り組んでいます。
・被災者宿泊体験（６年生）
・おゆずり会
・芝っ子まつり

学校生活の様子

プールでやごとり

運動会

芝シンフォニックブラス

ハロウィンパレード

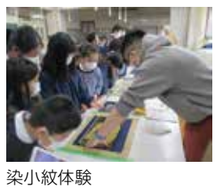
なかよし班活動

花育

チャレンジジャンプ

芝っ子まつり

芝沖クルーズ


染小紋体験

あかばねしょうがっこう

赤羽小学校

校名の由来　三田の大地から赤埴という赤い色をした土器がたくさん出土したことが由来とされています。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	中村　美奈子
所 在 地	港区三田2-6-2
電話番号	3451-1988
HPアドレス	https://akabane-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/akabaneeschool
交　　通	大江戸線　赤羽橋駅　徒歩８分
特別支援学級	知的障害（ひまわり学級）固定学級
職 員 数	36名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学　級	4	4	3	3	3	3	2	22
児童数	140	129	97	95	90	91	16	658

教育目標

○【徳】やさしい子
○【知】かんがえる子
○【体】げんきな子

学校の沿革

大正15年	赤羽尋常小学校として開校
昭和　5年	校旗、校歌を制定
昭和22年	港区立赤羽小学校と改称
昭和45年	港区立赤羽幼稚園を併設
昭和50年	新校舎落成式挙行
平成　7年	特別支援学級設置
平成19･20年度	港区教育委員会研究奨励校（園）「生活科・総合的な学習」
平成25･26年度	港区教育委員会研究奨励校「国語」
平成28年	開校90周年記念式典祝賀会挙行
平成30･令和元年度	港区教育委員会研究奨励校「体育」
令和 5年	新校舎落成式挙行

総合的な学習の時間

○実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成します。
○国際理解教育、情報教育、環境教育、福祉教育に関する学習を、地域人材や施設の活用を充実させながら実施し、主体的・対話的で深い学びに取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育みます。

学校の特色

○自分や他者を大切にし、協働する心を育成するため、道徳教育や体験活動の充実を図ります。
○基本的な生活習慣を身に付け、落ち着いた環境で自分の力を伸ばすことができるように、学校・家庭が「赤羽のよい子（生活・学習のやくそく）」で共に育てます。
○基礎・基本の学習の確実な定着を図るため、タブレット端末等ICT機器を活用した個別最適な学びや習熟度に応じた指導を実施しています。
○思考力・判断力・表現力の育成のため、多様な「考える」「書く」「話し合う」等の言語活動や主体的・対話的で深い学びとなる授業を行っています。
○高学年教科担任制を取り入れ質の高い授業を行っています。
○縦割り班活動や併設している赤羽幼稚園との交流等の異学年交流活動を取り入れています。
○児童の学習意欲や知的好奇心を喚起するために、学区域にある大学・外国の大使館等の施設や地域の人材を生かした学習、司書を活用した学校図書館での学習・読書活動の充実等を推進しています。

こんな学校を目指しています

○子供の笑顔が輝く学校
・子供自身が、自分を大切にし、自分の成長を信じ、様々なことに挑戦できる学校
・相手を大切にし、子供が互いのよさを認め合い、共に学ぶ学校
○保護者・地域から信頼され、共に子供を育む学校
・子供の成長のために、保護者・地域と共に考え、行動する学校
・適切な情報発信をし、保護者・地域に開かれた学校
○教職員が指導力を磨き合い、自分のよさを発揮できる学校
・子供に「学ぶ楽しさ」「協働する喜び」を味わわせるため教職員が切磋琢磨する学校
・教職員がやりがいを感じ、専門性を発揮することができる学校

児童の声

○校舎がきれいで明るくて、素敵です。
○学校図書館が大好きです。本もたくさんあり畳に座って読めるのがうれしいです。
○体育館が広くて、思いっきり体を動かせます。
○屋上にはバスケットゴールがあり、体育をしたり、遊んだりできます。
○講堂では、学年集会や発表会をしています。
○音楽室や理科室が２つありびっくりしました。一生懸命勉強したいです。
○たて割り班活動で、いろいろな学年の友達ができました。

クラブ活動の紹介

イラスト・手芸・科学・音楽・バドミントン・卓球・室内ゲーム・ダンス・バスケットボール・手品・プログラミング・読書研究の12のクラブがあります。毎年、児童の意見を聞いてクラブを設置しています。

児童会活動の紹介

代表・保健・放送・体育・集会・図書・環境美化・給食の８つの委員会があります。高学年の児童がよりよい学校生活になるように、主体的に活動しています。

校内研究主題

研究主題「伝え合う力を育てる指導の工夫」

各教科等の授業を通して、児童の言語活動や教師の指導方法を工夫したり、ペアやグループ、全体での相互交流の場等を設定したりすることにより、言葉を通して正確に理解する力が高め、課題や目的に応じて考えをまとめる力を児童に身に付けていきます。また、考えを伝え合うことを通して、共に成長し、よりよい人間関係を形成することを目指しています。

特色ある教育活動

挨拶運動

いじめ防止集会

食育「そら豆のさやむき体験」

マーチングバンド

ビオトープでの自然学習

大使館交流「オーストラリアンフットボール体験」

幼稚園との交流

異学年交流「たてわり班活動」

体力向上「長縄大会」

運動会（港区スポーツセンター）

スポーツ体験「ラグビー体験」

スポーツ体験「車いすバスケットボール体験」

しばうらしょうがっこう

芝浦小学校

校名の由来

芝の村の海岸を意味する「芝の浦」と呼ばれた土地が、時代とともに「芝浦」となり、芝浦地区唯一の小学校であることから名付けられました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	井田　孝
所 在 地	港区芝浦4-8-18
電話番号	3451-4992
HPアドレス	https://shibaura-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/shibauraes
交　　通	JR　田町駅　徒歩14分
	JR　高輪ゲートウェイ駅　徒歩19分
	浅草線　泉岳寺駅　徒歩14分
職 員 数	50名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	5	4	5	5	4	4	27
児童数	173	127	156	176	139	147	918

教育目標

○心もからだも強い子
○すすんで勉強する子
○友だちと協力する子

学校の沿革

昭和17年　芝浦国民学校開校
昭和22年　港区立芝浦小学校と改称
昭和35年　桜と錨をデザインした校章バッジを制定
昭和40年　芝浦小学校校歌制定
平成14年　開校60周年記念式典挙行
平成16・17年度　港区教育委員会研究奨励校
平成18・19年度　文部科学省道徳教育推進校
平成23年　新校舎移転　新校舎落成記念式典挙行
平成24年　開校70周年記念式典挙行
平成23・24年度　港区教育委員会研究奨励校
平成27・28年度　東京都人権尊重教育推進校
平成29年　開校75周年記念児童集会実施
平成29・30年度　港区教育委員会研究パイロット校
平成31年　増築校舎完成
令和4年2月　開校80周年記念式典挙行

総合的な学習の時間

地域「芝浦」にかかわりのある学習として、次の活動を行っています。
○3年生　芝浦運河に学び運河のある町のよさを学ぶ学習活動
○4年生　地域調査し、芝浦のこれからを考える学習活動
○5年生　芝浦の地で自分ができることについて考える学習活動
○6年生　芝浦太鼓　日本の伝統文化に学ぶ学習活動
※5年生は、なぎなたの体験学習をします。

学校の特色

○27学級・児童数918名の大きな学校です。令和３年度、開校80周年を迎えました。
○全校をユニットABに分けて学習を進めますが、運動会などの学校行事は全学年一斉に行っています。
○オープンスペースのある教室や可動式の床のある温水プールなどの恵まれた施設を活用し、充実した学習を進めています。
○高学年の教科担任制、少人数指導の実施など、きめ細かな指導で、学力向上を目指しています。
○異学年交流などを通して、優しい心を育むとともに、自他のよさを伸ばし合う人間関係を形成します。
○合唱団「歌花隊」は、校内での音楽会や休み時間のミニコンサートなどに出演し、歌声を響かせています。また、芝浦運河まつりなどの地域の催しや区の行事の他、様々なコンサートやコンクールに参加しています。水辺フェスタなどの地域の取組にも積極的に参加しています。
○「港南アカデミー」の芝浦幼稚園・港南幼稚園・港南小学校・港南中学校・芝浦小学校とカリキュラムを連携しています。

こんな学校を目指しています

「学びと温もりにあふれ、誰もが活躍する芝浦小学校」を目指します。
○自他を大切にし、思いやりの心の育成を図ります。
・人権教育の推進・生活アンケート、Web—QUの活用・特別活動の充実
○未来を創造する力の育成を図ります。また、港区の特性を生かし、郷土を愛し世界に貢献しようとする態度の育成も図ります。
・「主体的・対話的で深い学び」に視点を置いた授業改善・ICT機器の活用、学校図書館の積極的な活用（読書活動の充実、読書記録の活用）
○命を大前提にした安全な環境をつくり、危険を予測し回避する力の育成を図ります。また、健康、体力の増進も図ります
・避難訓練、安全指導、安全教育の充実・運動への関心や意欲の向上、基礎体力の向上、健康に関する資質・能力の育成
○一人一人が能力や特性を伸ばしながら、成長・発達していける支援体制を構築します。
・特別支援教育の推進・保護者懇談会

児童の声

芝浦小学校のよいところ
○たくさんの友達と関わりながら、学校生活を送ることができます。
○異学年と交流することで、学年を超えて友達をつくることができます。
○学年がAユニットとBユニットに分かれています。また、ユニット担任の先生で教科を交換した授業があり、いろいろな先生の楽しい授業を受けられます。
○校舎がきれいで、とても広いです。また、教室がオープンになっていて、いろいろな学習活動をするのに十分なスペースがあります。
○屋内温水プールで水泳の学習ができます。雨の日でも寒い日でも、楽しく泳げます。
○地域の方や学校の近くの企業の方などが、ゲストティーチャーとして授業をしてくださいます。

年間行事

○入学式（4月）
○運動会（5月）
○学校公開（6月、9月、2月）
○新1年生学校説明会
（9月、10月、11月）
○文化的な発表（音楽会）（11月）
○書き初め会（1月）
○道徳授業地区公開講座（2月）
○卒業式（3月）

校内研究主題

研究テーマ「主体的に探究し、生活や社会に生かす児童の育成
～生活科・社会科の学習を通して～」
○社会や生活について理解し、情報を適切に調べたり、生活上必要な技能を身に付けたりする力を育成します。
○社会や生活にみられる課題を把握し、解決に向けて選択・判断・表現する力を育成します。
○社会的事象や生活について、主体的に問題解決しようとする力を育成します。

クラブ活動の紹介

球技　卓球　バドミントン　スポーツ
ダンス　バスケット　サッカー
タブレット　室内レク　理科　絵画
工作　手芸　和の心
以上の１４種類のクラブがあります。
活動内容を自分たちで企画・計画して行っています。

児童会活動の紹介

計画　図書　集会　ミニコンサート　掲示　新聞　放送　給食　栽培　美化　保健　体育
以上の12 種類の委員会があります。
自分たちができることを考え、行動することを大切にしています

特色ある教育活動

○施設
・オープンスペースのある広い教室
・学年が集まれるラーニングセンター
・人工芝の運動場
・屋内温水プール
○異学年集団活動
・年間６回以上の活動
○体力づくり
・長縄週間
・体力テスト実施
・ボルダリング
○歌花隊
・歌の花を咲かせよう!児童合唱団「歌花隊」
○地域との連携
・つながり広がる文化、交際交流
・スポーツ体験（なぎなた）

歌の花を咲かせよう本校児童合唱団「歌花隊」

オープンスペースのある広い教室

個性が輝く中休みミニコンサート

つながり広がる文化・交際交流、スポーツ体験（なぎなた）

しばはましょうがっこう

芝浜小学校

校名の由来

学校の近隣は、かつて「芝浜」と呼ばれ、有名な古典落語の舞台にもなった地域であることから名付けられました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	宮﨑　直人
所 在 地	港区芝浦１-16-31
電話番号	3769-3051
HPアドレス	https://shibahama-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/shibahamaes
交　　通	JR田町駅　徒歩５分 浅草線・三田線　三田駅　徒歩６分
職 員 数	30名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	5	5	4	3	2	2	21
児童数	151	144	127	96	56	64	638

教育目標

・自他を価値ある存在として尊重する子【徳】
・自ら考え、行動し、判断する子【知】
・心身ともに健康で、運動に親しむ子【体】

学校の沿革

令和４年４月	芝浜小学校開校
令和４年12月	開校記念式典挙行
令和５年度	東京都地域人材・資源活用推進校
令和５・６年度	港区教育委員会　研究奨励校

総合的な学習の時間

・地域や企業等と連携し、運河や近隣の施設などを生かした学習活動を推進します。
・自ら課題意識をもって、探究的な学習に取り組むことを通して、地域への誇りと愛着を育み、自己の生き方を考えることにつなげていきます。

学校の特色

・地上９階建ての校舎で、校庭は９階、体育館は７階、プールは６階にあります。なお、６階にあるプールは温水プールです。
・７階には体育館の他にプレイルームがあり、鉄棒やボルダリングを使った運動ができます。
・運河や水辺空間に囲まれている立地、隣接している芝浦公園の「ビオトープ」や校内に新設された「Shibahama Garden」等を生かした環境学習を実施しています。
・隣接する「みなとパーク芝浦」の各施設と連携した多様な学習を展開します。
・古典落語と関連する学校名や近隣にある伝統文化交流館と連携し、伝統と文化を重んじた教育を実施します。
・地域ともに児童の成長を支えるコミュニティスクールとして、地域の団体や企業等と連携し、地域の教育資源を活用した教育活動を展開します。

こんな学校を目指しています

～あたたかい学校～
「一人一人のよさを認め合い、互いに励まし合う学校」
　教職員と子どもたちとの信頼関係や子ども同士のよりよい関係を基盤として、一人一人のよさを認め合い、自己肯定感を育てます。また、縦割り班活動などを通して、子ども同士の豊かな人間関係を築き、思いやりのある心を育てます。
～落ち着いた学校～
「あいさつ・返事・聞く態度・規範意識を備えた品格のある学校」
　明るい挨拶と品格のある行動ができるようにします。自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのかを考え、進んで約束やきまりを守って行動する態度を養います。
～学ぶ喜びのある学校～
「分かった・できたことが増える学校」
　自ら主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育みます。
～信頼される学校～
「地域とともにあり、地域に開かれた学校」
　地域の人との交流活動や地域の施設を活用した学習など、地域と関わりをもつことができるよう様々な体験活動を推進し、豊かな人間性を育みます。
　地域と学校が連携・協働しながら子どもたちを育てていくために、様々な取り組みを進めます。地域・家庭・学校が一体となって未来を担う子どもたちの成長を支えていくことができるようにしたいと考えています。

児童の声

○休み時間は、校庭や体育館、図書室、プール校庭（水泳の授業がない時期）、ボルダリングなど、様々な場所で遊ぶことができます。
○生活科や理科の学習で新しくできた「Shibahama Garden」で、野菜を育てています。野菜が育つのが楽しみです。
○開校3年目の新しい学校なので、委員会活動等を通して、自分たちで様々な提案や計画を立て実行することで魅力ある学校を築いていきます。あいさつ運動や食品ロスを減らす取り組みなど、自分たちで芝浜小学校をよりよくしようと提案し、学校の伝統を創っています。
○縦割り班活動や芝浜子ども祭りなど、全校児童が交流することができる活動や行事があり、全校児童がとても仲良く過ごしています。

校内研究主題

研究主題「地域とのつながりを通して、主体的に問いをもち、解決しようとする児童の育成」
・主体的に問いをもち、解決しようとする児童を育成するための授業改善について研究します。
・多様な教育課題に対して、地域教材を生かした学習方法について研究します。
・上記の取組を効果的に編成、実施、評価、改善を行うことができるよう、カリキュラムマネジメントについて研究します。

クラブ活動の紹介

スポーツA、スポーツB、動画編集プログラミング、アート、手芸、サイエンスA、サイエンスB、音楽合奏、ダンス、演技

児童会活動の紹介

代表委員会、集会委員会、放送委員会、図書委員会、広報委員会、保健委員会、給食委員会、体力向上委員会、環境委員会、美化委員会、生活委員会

特色ある教育活動

・特別活動の充実
　異学年での交流活動（縦割り班活動）を実施し、様々な学年の友達と関わることで思いやりの心を育てます。また、５、６年生には高学年としての自覚をもたせるとともに、リーダーシップを育てます。
・体験活動の充実
　地域の団体や企業等と連携し、協力の下、本物にふれる体験を重ね、生きる力を育みます。

PTA活動

芝浜Kidsサポーターズ（愛称：はまさぽ）
子どもたちの笑顔のため、本当に必要とされる組織を
～出来る人が、出来る時間に、出来る力を少しずつ～
活動実績：通学路見守り　通学路110番シール設置
　　運動会お手伝い
　　地域の祭りのお手伝い　など

年間行事

遠足「都立芝公園（1年）」「アクアパーク品川（2年）」「はまぎんこども宇宙科学館（3年）」「高尾山（4年）」、「東京グローバルゲートウェイ（6年）」学校公開（年2回）、引き渡し訓練、道徳授業地区公開講座、生活科見学（1・2年）、社会科見学（3～6年）夏季学園（5年）、移動教室（6年）、運動会、音楽会、芝浜子ども祭り

学校生活の様子

第1学年　生活科
『むかしあそびをたのしもう』

第2学年　生活科
『まちをたんけん　大はっけん』

第3学年　社会科
『わたしたちのまち　みんなのまち』

第4学年　総合的な学習の時間
『まちづくりフェスを開こう』

第5学年　社会科
『自動車をつくる工業』(三菱自動車)

第5,6学年　環境委員会による
芝浦公園ビオトープの整備

全学年　水泳指導
(日本セーフスイム協会)

全学年
オーストラリア大使館による出前授業

みたしょうがっこう

御田小学校

校名の由来

昔、神社の土地を御田（おんでん）と呼んでいました。御田八幡の領地に建つ学校ということで、御田（みた）小学校と名付けられました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	齋藤　恵
所 在 地	港区白金3-18-2
電話番号	3473-3436
HPアドレス	https://mita-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/mitaeschool
交　　通	三田線・南北線　白金高輪駅　徒歩6分 都バス（田87）　三光坂下　徒歩1分
職 員 数	27名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	3	2	2	3	3	2	15
児童数	71	68	58	83	85	65	430

教育目標

○よく考え　くふうする子ども
○すすんで行い　やり通す子ども
○仲よく　はげましあう子ども
○じょうぶで　心ゆたかな子ども

学校の沿革

平成12年　4月　御田小学校（明治６年創立）と南海小学校（明治７年創立）を統合し、御田小学校開校
平成18･19年度　港区教育委員会研究パイロット校
平成22年11月　開校10周年記念式典挙行
平成24･25年度　港区教育委員会研究パイロット校
令和元・２年度　港区教育委員会研究パイロット校
令和 ２ 年10月　開校20周年記念式典挙行
令和 ６ 年　4月　校舎改築のため、三光キャンパスに移転

総合的な学習の時間

３年生：「発見！三田のまち」「インターネットを使って調べよう」「くらしのうつりかわり」「みらいグロース」
４年生：「地域安全マップをつくろう」「千畑小学校と交流しよう」「10年間を振り返ろう」「みらいグロース」
５年生：「環境問題について考えよう」「人権について考えよう」「共に生きよう」
６年生：「箱根のことを調べよう（箱根移動教室）」「自分の生き方を考えよう」

学校の特色

○校訓
「母校ヲ愛スル者ハ国ヲ愛ス」
本校の卒業生で慶應義塾大学第7代塾長でもある小泉信三氏の言葉を校訓にしています。歴史と伝統ある母校を誇りに思い、地域を愛する児童を育てます。令和２年度は、開校20周年を迎え、令和２年10月には、地域の方々とともに盛大にお祝いをしました。

○歴史深く・緑にあふれる地域
子どもたちの多くが住んでいる三田４丁目周辺は、江戸時代に幕府が寺を集めて計画的に作った寺院の街です。現在も、本校の周りには、たくさんの寺院があります。海辺の高台にあり、月見の名所としても知られ、画家 歌川広重は、「名所江戸百景」の一つとして、「月の岬」という作品を残しています。また、学校近隣にある「三田台公園」や「亀塚公園」からは、縄文時代の遺跡や古代の古墳も発掘されています。年間を通し、これらの地域の特色を生かした教育活動を行っています。

○授業のユニバーサルデザイン化等
三光キャンパスに移転してからは、朝遊びを取り入れて子どもたちが早くに登校しても活動できる居場所を作るとともに、キャッチボール遊びなどの投力改善のための工夫に取り組み、体力向上を推進しています。
また、児童が「分かる・できる」ように、工夫・配慮された指導方法を基盤とした授業づくり、学級づくり、教室環境づくりをしています。一部教科担任制や算数少人数コース別指導を取り入れ、質の高いきめ細やかな指導を行ってます。今年度からイングリッシュデーやオンライン授業日を設定して、国際理解教育及びICTを活用した学びの充実に取り組んでいます。

こんな学校を目指しています

「すべての教育活動は、御田小学校の子どもたちのために」

【目指す児童像】
自分のよさや可能性を認識し、主体的に自分の考えを表現できる心豊かな児童
○よく考え　くふうする子ども（自ら考え、行動できる子）
○すすんで行い　やり通す子ども（やり通す子）
○仲よく　はげましあう子ども（相手の気持ちを考えられる子）
○じょうぶで　心ゆたかな子ども（たくましい心と体をもった子）

【目指す学校像】
～「自分も大切　みんなも大切
子どもが主役のたのしい学校」～
○学ぶ意欲を高め、確かな学力が身に付く学校
○保護者・地域と連携し、通わせたいと思える学校
○保護者と教職員が活気に満ち、満足できる学校

児童の声

○南海小学校と統合して、長い歴史と伝統のある学校です。毎年6年生が伝統的に御田太鼓に取り組んでいます。
○三光キャンパスに移転して、廊下や階段が広くて明るくなり、とってもきれいです。家から学校まで友達と話しながら登校できて楽しいです。
○給食がおいしくて、毎日楽しみにしています。特に人気があるのは、カレー、揚げパン、ジャージャー麺です。
○各学年2～3学級で、いろいろな人と密に関われます。

学校生活の様子

本校は、令和2年に開校20周年を迎えました。
校舎改築工事のため、令和6～10年度は、旧三光小学校校舎（白金3−18−2）で授業を行います。令和11年1月から新校舎での学校生活が始まります。

校章

人と人がみんなでトンネルを作り、その中をほかの人が通り抜けるとき、それは祝福を意味します。二人の子どもが手をつなぎ、二つの心を結ぶリボン（時の流れ）が、風にそよいで、南海小学校のNを描き、御田小学校の頭文字のMになっています。リボンはNとMも境なく未来につながっていきます。時の流れの中で成長する子どもたちに愛され、未来に通じる校章です。

校庭は人工芝で安全に遊べます。
旧校舎にあるヒマラヤスギは学校のシンボルで、いつも私たちを見守ってくれています。昨年度から、パペット人形のヒマラヤくんがマスコットキャラクターとして仲間に加わりました。

旧校舎の校庭とヒマラヤスギ　マスコット「ヒマラヤくん」

特色ある教育活動

◆人権尊重教育◆
「挨拶・感謝・言葉遣い」に重点を置き、自他の人権を理解し、尊重をする態度を育てています。代表委員会が中心となって作成した人権キャラクターや人権標語カレンダーの活用を通して、様々な取組を行っています。また、異学年交流活動を行い、積極的に人と関わる態度と自己有用感の育成を図っています。

あいさつ運動

人権カレンダー

◆御田太鼓◆
「心・技・体・礼」をモットーに活動しています。運動会や御田芸術祭での発表の他にこども平和まつり、区民まつりなど、地域の行事で活躍しています。三光キャンパスの地域行事にも積極的に参加し、交流を深めます。

「社会を明るくする運動」

◆国際理解教育の充実◆
国際ルームを作り、国際の授業の環境整備の充実を図るとともに、イングリッシュデーを設定して、子どもたちが英語に触れる機会を積極的に設けます。また、近隣の大学や大使館、留学生と連携した英語活動や国際理解教育も行います。

イングリッシュデー

◆地域力を生かす教育◆『地域学校協働本部推進校』
地域コーディネーターとの連携を密にして、校外学習や学習活動において、保護者や地域とともに協力して子どもを育てる学校を目指します。

地域の方がゲストティーチャーの授業

地域の方･保護者の方による学習の支援

近隣学校と連携した国際理解教育

◆ICTを活用した学びの充実◆
ICTの活用を校内研究として設定することで教育活動の柱とし、その充実に努めます。また、学期に一回オンライン授業日を設定してタブレットを活用した学習を行います。さらに、校内の会議等のペーパレス化をより一層推進するなど、教育活動全体を通して、タブレット等の活用を進めます。

校内研究主題

主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
～ ICT機器を活用して、子どもの学びを支援する指導方法の工夫～
港区学校教育推進計画重点事業に取り組んでいくにあたり、本校の今年度の重点取組を「国際理解教育の充実」と「ICTを活用した学びの充実」と決定しました。上記２つの重点取組の中から、「ICTを活用した学びの充実」に焦点を当て、ICT機器を効果的に活用した授業の実践を行い、授業が深めるとともに、ICT機器の活用を一つの手段として、自分の思いや考えを表現する児童の育成を目指します。

PTA活動

48年間続いている「秋田・千畑小交流」。コロナ禍の3年間は間接的な交流を行いました。令和５年度から直接交流を再開して、御田小の児童が秋田県の千畑小学校へ、千畑小学校の児童が御田小学校へお互いに交流をしました。今年度からホームステイも再開しました。
毎年「ふれあいまつり」などの楽しい行事があり、保護者の交流も活発です。夏にはヒマラヤスギの会（親父の会）による「水遊び」が行われます。子どもたちはとても喜んで参加しています。
PTAの有志の会、「リーディング・ツリー」。朝の時間を活用して定期的に読み聞かせに来てくださいます。

たかなわだいしょうがっこう

高輪台小学校

校名の由来

明治41年開校の臺町小学校と大正2年開校の高輪小学校が合併し、昭和10年に高輪台小学校となりました。本年度、開校90周年を迎えました。

学校概要

令和6年5月1日現在

校　　長	森　勇人
所 在 地	港区高輪2-8-24
電話番号	5447-0616
HPアドレス	https://takanawadai-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/takanawadaies
交　　通	浅草線　泉岳寺駅　徒歩10分
	JR　高輪ゲートウェイ駅　徒歩10分
特別支援学級	知的障害（あじさい学級）固定学級
職 員 数	53名

学級数・児童数

令和6年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学　級	4	5	4	4	3	4	1	25
児童数	127	157	121	130	105	135	6	781

教育目標

心もからだも健康な子
○すすんで学び　がんばる子
○責任を果たし　助け合う子
○美しいものを　大切にする子

学校の沿革

昭和10年　2月	東京市高輪臺尋常小学校として開校
平成17年　2月	開校70周年記念式典挙行
平成17年　4月	大改修工事終了 高輪校舎にて教育活動再開
平成17年　5月	校舎竣工式典挙行
平成21･22年度	港区教育委員会研究パイロット校
平成22年11月	第2校庭完成
平成26年	開校80周年記念式典挙行
平成26年度～	東京オリンピック・パラリンピック教育推進校
平成26･27年度	港区教育委員会研究奨励校
平成28年　4月	特別支援教室　高輪台ルーム開設
令和元年度	開校85周年記念関連行事（運動会、学芸会、記念集会等）実施
令和　2年　7月	プール棟竣工 放課GO→クラブたかなわだい開設
令和　3年　4月	学校運営協議会を設置 特別支援学級（あじさい学級）を高松中に設置
令和　6年度	開校90周年記念関連行事（運動会、合唱発表会、展覧会、記念式典等）実施

総合的な学習の時間

・6年間を貫く柱「地域を見つめて、地域で学び、地域に還元する」をもとに、国際理解教育ならびに3年生が「町づくり、地域理解・安全」、4年生が「環境、キャリア」、5年生が「福祉、キャリア」、6年生が「伝統・歴史、キャリア」の分野でそれぞれ自主的・実践的な活動を行う。
・高松アカデミーを中心とした近隣小中学校や保幼小連携をより一層充実させることにより、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育む。また、保育園・幼稚園との円滑な接続のために交流活動や小学校教育の理解を図るための機会を設定し、小学校入学前教育を充実させる。
・食農教育を通して生産者との交流を実施することで、食文化や生産者への理解を深める。

学校の特色

○地域との連携や本校の伝統を踏まえて
・コミュニティスクールとして、地域の人材活用、保護者や関係機関との一層の連携を図り、特色ある教育活動を推進します。
・高松アカデミーの取組の中で、保・幼・小・中12年間を通した教育活動を計画に行っていきます。
・地域との連携活動・行事を各学年で実施し、地域の高校との交流活動も行っています。
○教育のスペシャリストとして
・自ら学ぶ姿勢をもち続け、児童や保護者、地域の方々から信頼される教職員になれるように努めていきます。
○教育の中心、心のふるさととして
・協力し合える学校として「家庭や地域と相互に協力関係を結びあえる学校」、教育力を外に求める学校として「常に新しい知識や技能に触れることのできる学校」、地域に貢献できる学校として「地域の願いに応え、地域の理解と協力を得ることのできる学校」づくりを推進します。
・保護者との連携、学校運営協議会を軸とした地域と連携した運営改善、伝統ある高輪台小学校同窓会の支援による教育活動の一層の充実を図ります。
○特別支援学級「あじさい学級」では、一人一人の障害特性に応じた指導の充実を図ります。

こんな学校を目指しています

子どもたち・先生たちが、気持ちよく相手に接することができる「楽しい学校・元気な学校」
　子どもたちは、新しいことを知りたい、できるようになりたい、そして、自分を高めたいという意欲を常にもち続けています。また、自分の良さや可能性を常に発揮したいと願っていて、それを実現できる可能性を秘めています。保護者は、我が子の可能性を最大限に伸ばしてほしいと願っています。子どもたちが楽しく学校に通っていれば地域もより活気が出てきます。
　保護者や地域の皆様と連携しながら、児童の可能性を最大限に伸ばし育てる教育を通して、子ども一人ひとりが主体的に考え判断し表現することのできる力を育てていけるような学校を目指しています。
　学校及び地域のコミュニティーが一体となって「楽しい学校」「元気な学校」づくりを実現していくために、次のことを意識して教育活動を進めていきます。
○思いやる子（道徳教育や体験活動を充実させ、豊かな心を育む）
○考える子　（言語活動を充実させ、確かな学力を育む）
○元気な子　（心身の調和的な発達を大切にし、健やかな心身を育む）

児童の声

○元気なあいさつを心がけています。
○協力し合い、困ったときに助け合うことができる優しい友だちが多いです。
○先生が楽しい話をしてくれます。
○休み時間は、みんなと元気に遊んでいます。

校内研究主題

主体的に考え、学び合う児童の育成（算数科）

学校生活の様子

花いっぱい運動

読み聞かせ

周年行事(航空写真)

岩井水泳

ボルダリング

あいさつ当番

防災教室

泉岳寺ガイド

特色ある教育活動

【高輪台小学校地域コーディネーター】
　本校では、高輪台小学校地域コーディネーターの方々が学校の教育活動の充実に向けて、様々な支援をしてくださっています。
・図書ボランティア「くるりくら」　・花植え隊活動
・飾りつけボランティア　・校外学習の支援（付添等）
　イベントや企画に参加した子どもたちからは、「楽しかった」という感想が多く寄せられています。ボランティアに参加した保護者の方々からも、「参加してよかった」「楽しかった」などの好意的な意見が多く寄せられています。また、入学式を始め行事や季節に合わせた飾りつけは、子どもたちも保護者の方も、見る人の気持ちを豊かにさせてくれています。

【防災教育】
　高輪地区総合支所、高輪消防署、高輪警察署、高輪地区防災ネットワーク、高輪消防団・地域の防災用食品会社と連携して、防災訓練を行います。
・消火器訓練　　・水と食料の確保
・段ボールハウス、マンホールトイレの設置
・止血法、添え木の仕方
・避難所開設の手伝い　　等

【漢字検定】
　全校で漢字検定を行います。検定を通して、漢字を覚えることへの意欲をもたせたり、意味を理解することの大切さを感じ取らせたりしていきます。

【合唱発表会・展覧会】【高輪台フェスティバル・学芸会】
　隔年で行います。令和6年度は合唱発表会・展覧会の年です。
　学年ごとに特色のある合唱曲を選び、音の重なりや響きを感じながら取り組みます。全員の息の合った合唱ができた時は本当に気持ちが良いです。展覧会では、今まで学んだことや新たな挑戦をしながら表現活動に取り組んだ成果を発表します。

しろかねしょうがっこう

白金小学校

校名の由来

明治９年の開校当時、今の白金小学校の辺りは東京府荏原郡白金村、今里村と呼ばれていたので、白金小学校と名付けられました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	髙山　直也
所 在 地	港区白金台1-4-26
電話番号	3441-5407
HPアドレス	https://shirokane-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/shirokanees
交　　通	三田線・南北線　白金台駅　徒歩5分
職 員 数	37名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	4	4	4	5	4	3	24
児童数	130	129	117	144	125	115	760

教育目標

個性的で創造的な行動と協調的で愛情のある行動ができ、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる人間を育てる。このために、次の合い言葉を定める。

自分をみつめ　　まわりもみつめ
ひとを生かし　　自分も生かし
めあてをもって　　努力を続ける

学校の沿革

明治　9年　1月	第一大学区第二中学区第二十二番公立小学白金学校開校
昭和22年　4月	校名を港区立白金小学校と改称
平成27年12月	開校140周年記念式典挙行
平成27・28年度	港区教育委員会研究パイロット校
平成28・29・30年度・令和元年度	「NHK学校音楽コンクール」4年連続　全国大会2位
平成30年度・令和元年度	東京都教育委員会「プログラミング教育推進校」
令和２年度	東京都教育委員会「子供の体力向上推進優秀校」
令和２・３年度	全国小学校英語教育実践研究会東京大会発表校
令和４・５年度	「NHK学校音楽コンクール」2年連続　全国大会3位
令和６年度	全日本教育工学研究協議会全国大会 東京都港区大会発表校

総合的な学習の時間

「白金タイム」という名称で、各教科を発展させた内容や、今日的な課題であるSDGs、世界の国々の特色、キャリアプラン、福祉などについて学習します。その中で「課題を設定する力」「追究する力」「まとめる力」「わかりやすく表現する力」を育みながら、「生きる力」の充実を目指しています。

学校の特色

○白金小の全ての子が守る、「白金スタンダード」（学校の約束）を軸にけじめある学習と生活の徹底を図っています。
○本校の長い歴史を語る「心のふるさと室」は、地域の保存会の方々が運営してくれています。地域や学校に関する貴重な資料が保存してあり、学校や地域の歴史について学びます。
○学校特設クラブ「合唱団」、PTA公認クラブ「ミニバスチーム」「陸上クラブ」などの課外活動があり、児童の情操教育や体力の増進を図るとともに、個性の伸長を目指しています。
○スクールカウンセラーや養護教諭が積極的に学級に入って子どもを見守るとともに相談体制の充実を図っています。

こんな学校を目指しています

○「日本一の学校～プラチナプライドをもって～」
本校は開校149年目になる伝統と歴史のある学校です。地域や保護者の方は、白金小学校は昔からの名門であり、伝統を大切にするとともに常に先進的な教育活動を行っているという誇りをもっています。そして、未来を切り拓き、これからの社会をひいては国際社会を支える人材を育てる学校であるという強い思いがあります。その期待に応えるのはもちろんのこと、より充実した学校となるように、教職員が白金小の誇り（プラチナプライド）をもって、地域・保護者と連携し、日本一の学校にしていきます。

○「Well-being　安定し幸せな学校」
子どもたちが学びに向かうには、心が安定し、環境が安心・安全・安定していることが重要です。教育のベースは人権尊重であり、子どもたち自身が安定した幸せな環境や場づくりを目指し、あらゆる場面で人権教育を推進することで、ウェルビーイングな学校にしていきます。

○「持続可能な社会の創り手を育てる学校」
地球環境や平和を自らの力で構築・維持していくために、「持続可能な社会の創り手を育てる」教育を展開することが急務であると考えています。自分事として身近な課題をとらえ、主体的に学ぶ中で、友達や様々な人々と協働して課題の解決を図る力を身に付けられるよう、学習を展開していきます。

○「保護者、地域から信頼される学校」
保護者や地域の皆様に協力していただき、連携した教育活動を展開します。そのために、学校での学習や行事の様子などを学校ホームページやX(旧ツイッター)などで保護者や地域の皆様に積極的に発信します。

児童の声

○白金小学校には、「自分を見つめ　まわりもみつめ　ひとを生かし　自分も生かし　めあてをもって　努力を続ける」という合い言葉があります。生活のいろいろな場面で、白金小児童全員の合い言葉として大切にしています。
○休み時間にはピロティのボルダリングで遊ぶこともできて、とても楽しいです。
○合唱団や陸上クラブ、ミニバスケットボールクラブなど課外活動も盛んです。
○代表委員会のあいさつ運動をはじめ、朝は元気の良い「おはようございます!」の挨拶が飛び交うすてきな学校です。

クラブ活動の紹介

令和6年度は次の12クラブで活動しています。
屋外スポーツ、球技、バドミントン、卓球、科学実験、家庭科、日本文化、ボードゲーム、まんが・イラスト、プログラミング、ダンス、図工

児童会活動の紹介

令和６年度は次の９委員会で活動しています。
代表、放送、新聞、運動、図書、飼育・栽培、環境、集会、保健・給食

保護者・地域の声

○地域の方々からも長年「しろしょう」と呼ばれ、愛されています。
○近隣の幼稚園、中学校、大学、児童館等と連携して、子どもたちの健全育成に努めており、信頼されている学校です。

特色ある教育活動

○ICT機器を積極的に活用し、個別最適な学び・協働的な学びができる授業を行っています。
○専科教員を中心に国際科の学習の充実を目指し工夫しています。
○体力向上を目指し、ボルダリングウォールを設置したり、体育館や中屋上に楽しく体力向上に取り組めるような場を作っています。日常的に運動できるような工夫をしています。
○合唱団、ミニバス、陸上などの課外活動があり、児童の情操教育や体力の増進を図るとともに、個性の伸長を目指しています。
○運動会、音楽会、展覧会、学芸会などの学校行事を大切にしています。１つの目標に向かって協力することの尊さを学ばせ、自主的・実践的な態度を育てます。
○低学年から算数少人数指導・音楽・図工の専科が授業を行い、一人一人の基礎学力をつけていきます。
○カウンセラーを積極的に活用し、子どもを複数の目で見守っています。

PTA活動

白金小学校のPTAは、４つの組織で活発に活動しています。日頃からとても熱心で、その功績が認められ文部科学大臣より奨励賞を受賞したこともあります。

毎朝の交通当番活動は数十年間継続しています。学校行事でのお手伝いなど保護者が積極的に学校に関わり、児童の健全育成の一端を担っています。また、PTA公認のバスケットボール（白金ドリームス）・陸上（白金クラブ）の課外活動も行っていて、子どもの個性や意欲を伸ばしています。

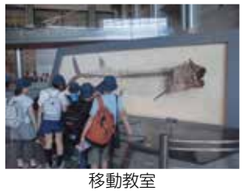
校内研究主題

「目的意識・相手意識を働かせて表現できる児童の育成」
～個別最適な学び・協働的な学びの一体的充実を通して～

学校生活の様子

幸風の鐘「さちのかね」

夏季学園


移動教室

白金台幼稚園との交流

ボルダリング

避難訓練

心のふるさと室

合唱団

学校マスコット「さっちくん」

こうなんしょうがっこう

港南小学校

校名の由来

港区の南に位置していることから「港南」とされました。校章には、桜の花の中に五輪をあしらい、その中央に「港南小」という文字を入れています。桜の花は日本の国花、五輪は本校が東京オリンピックと同じ年に開校したために考えられました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	吉川　浩一
所 在 地	港区港南4-3-28
電話番号	3474-1501
HPアドレス	https://konan-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/konaneschool
交　　通	JR　品川駅　徒歩10分
特別支援学級	知的障害（わかば学級）固定学級
職 員 数	64名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学　級	6	6	7	7	6	6	5	43
児童数	178	201	219	218	200	220	33	1,269

教育目標

○よく考えて　学習する子
○すなおで　心豊かな子
○進んではたらき　協力する子
○健康で　がんばりぬく子

学校の沿革

昭和38年　4月	港区立芝浦小学校分校として開校
昭和39年　4月	港区立港南小学校開校 校章・校旗を制定
昭和40年　2月	校歌制定（作詞　勝承夫　作曲　小出浩平）
昭和54年　5月	掲揚ポール設置（東京オリンピック使用）
昭和58年　4月	肢体不自由学級（たけのこ学級）開級
昭和62・63年度	港区教育委員会研究奨励校 その後、数回の研究発表を実施
平成20年　4月	知的障害学級（わかば学級）開級
平成22年　5月	新校舎落成記念式典挙行
平成23年11月	グラウンド落成記念式典挙行
平成23・24年度	港区教育委員会研究奨励校
平成25年11月	第52回全国学校体育研究大会東京大会分科会会場校
平成26・27年度	港区教育委員会研究奨励校
平成26年11月	開校50周年記念式典挙行
平成28・29年度	港区教育委員会研究奨励校
平成30・令和元年度	港区教育委員会研究奨励校
令和元年　5月	開校55周年記念式典
令和3・4年度	港区教育委員会研究奨励校
令和6年11月	開校60周年記念式典挙行

総合的な学習の時間

自ら課題を見出し、自ら調べ、自ら考え、問題を解決する資質や能力を育てるとともに、自分の生き方を考える力、進んで地域に関わろうとする意欲や態度を形成することを目標としています。家庭や地域の協力を得ながら、地域・環境・福祉・食育などの教育課題や「港南地域」の特色を教材化し、子どもたちが自ら追究できる学習活動を工夫しています。

学校の特色

【確かな学び】
○学習では、「児童が学んでよかったと思える授業」を推進しています。校内研究では、「わかる・できる・楽しいを感じられる授業づくり」に取り組んでいます。
○高学年では、学年として子どもたちを把握し、質の高い授業を行うために、交換授業を行っています。
○「体力向上週間」を設定し、様々な運動や遊びを通して体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに児童の体力の向上を目指しています。

【多様な活動】
○毎月、兄弟学年で楽しく交流する「フレンドリータイム」を行っています。
○夏季休業中には「夏休み港南クラブ」と称し、保護者、地域の方々により講座を開設しています。日常の学校生活とは異なる、様々な体験活動を行っています。
【充実した環境】
○広くてきれいな人工芝のグラウンドで子どもたちは元気にのびのびと体を動かしています。
○屋内温水プールがあります。また、屋上には学級菜園もあります。

こんな学校を目指しています

○子どもたちが楽しいと感じることができる学校
・学んでよかったと思える学校　・きまりのある学校
○保護者や地域にとって信頼できる学校
・開かれた学校　・安全・安心な学校
○教職員にとって働きがいのある学校
・活力のある学校　・子どもと共に成長を感じる学校

児童の声

○みんな大きな声で元気よくあいさつをし、笑顔があふれる楽しい学校です。
○毎年クラス替えをすることや、フレンドリータイムがあることで、友達がたくさんできます。様々な人と触れ合うことができるのは、児童数が多い「港南小ならでは」だと思います。
○グラウンドや体育館が広いので、体育の授業はたくさん体を動かせます。休み時間に、人工芝の広い校庭で遊ぶのが、毎日楽しみです。
○自然が豊かです。グラウンドを囲む桜の木や屋上菜園、ビオトープなど、緑がたくさんあってとてもきれいです。

クラブ活動の紹介

港南小学校では「児童が自ら考え、主体的に活動すること」を目標に、クラブ・児童会活動が活発に行われています。児童数が多いため、他校には無いようなクラブ・委員会が数多くあります。
○クラブ…クラブ数：21
（クラブ例）・水泳・リズムダンス・和の心・ボードゲーム・科学理科・室内球技・サッカー　など
○委員会…委員会数：17
（委員会例）・代表・集会・ベルマーク・美化・あいさつ・広報・栽培　など

年間行事

１学期

4月　入学式
5月　スポーツフェスタ、学校公開
6月　合同移動教育（わかば）
7月　移動教室（6年生）
〈夏休み〉夏季学園（５年生）
夏休み港南クラブ
夏季水泳指導

２学期

9月　水泳記録会（6年生）
10月　学校公開、学校説明会、合同運動会（わかば）、連合運動会（6年生）
11月　開校60周年記念式典、ミュージックフェスタ

３学期

1月　学校公開　道徳授業地区公開講座
3月　卒業式

校長の願い

「子どもたちが楽しいと感じることができる学校」を学校経営の柱とし、全教職員が力を合わせて、保護者や地域の方々の信頼に応える教育を推進します。そして、
・子どもたちの豊かな心を育むこと
・子どもたちに確かな学力を定着させること
・子どもたちの健全な成長を保障すること
を目指します。

特色ある教育活動

【港南の地域から学ぶ学習】
地域の環境や人材をいかした学習を、児童の発達段階に応じて展開しています。
問題解決的な学習に取り組むとともに、地域への愛着を深めることを目指しています。
○「運河学習」…運河を実際に見学することや、地域の方からお話を伺うことで、環境や地域の特色を学びます。
○「地域清掃」…月１回地域の方と一緒に行う清掃活動にかかわることで、主体的に地域の環境保全について考え、取り組んでいます。
○「街づくり」…ゲストティチャーの方から港南の街の特色を伺い、これからの街づくりについて考え、提案を行います。

「学力向上」に向けた取組

港南小学校では、「基礎的・基本的な内容の確実な定着」を図り、「思考力、判断力、表現力を育成」するために、様々な取組をしています。
○年間を通して朝の時間に、すべての学年で漢字等の定着を図る学習に取り組んでいます。
○2～6年生の算数科では少人数指導を行い6学級8展開、7学級9展開を基本として、児童一人ひとりの学習状況を確実に把握しながら、適切な指導を行っています。
○児童の発達段階に応じた「主体的・対話的で深い学び」を展開し、問題解決型の学習に取り組んでいます。自ら考え、表現し、対話を通して考えを深める学習を推進しています。

校内研究主題

令和６年度　校内研究
「わかる・できる・楽しいを感じられる授業づくり」
～国語科における「考える」場面を通して～

あざぶしょうがっこう

麻布小学校

校名の由来

古来から当地を「麻布」と呼んでいました。明治期には麻布区となったその地名にちなんで名付けられました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	宮島　淳一
所 在 地	港区麻布台1-5-15
電話番号	3583-0014
HPアドレス	https://azabu-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/azabues
交　　通	南北線　六本木一丁目駅　徒歩５分
職 員 数	30名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本語	合計
学　級	3	3	2	3	2	2	1	16
児童数	73	72	65	71	46	53	―	380

教育目標

○元気な子　　○やさしい子　　○考える子

学校の沿革

明治　８年	麻布区市兵衛町２丁目63番地に創立
昭和　８年	現地に校舎落成（南葵文庫跡）
昭和　９年	麻布、麻中両校合併
昭和21年	三河台国民学校を合併
昭和22年	東京都港区立麻布小学校と改称
昭和25年	現校歌制定
昭和60年	現校舎落成
平成27・28年度	港区教育委員会研究奨励校
平成30年４月	日本語学級設置
令和　２年	開校145周年記念式典挙行
令和元･2･3年度	港区教育委員会研究奨励校

総合的な学習の時間

課題と出会いと体験を重視した「環境」「地域」「心の成長」「伝統文化」の４つのテーマを中心に構成された単元で学習を進め、生きる力を育んでいます。

３年：商店街たんけん、地域美化（大好きなまち六本木）
４年：茶道教室、地下道絵画展示
５年：わたしたちにできること
６年：箱根移動教室を成功させよう

学校の特色

○校訓「自由　規律　品格」を育む教育活動
基礎的な学力を授業で確実に身に付けさせることに加え、ICT機器の活用や、読書タイム・出張スピーチタイムなどの言語力を育てる活動にも力を入れています。また、地域の方々との地域清掃「ちょこっとボランティア」活動や４年生の地下歩道橋の絵画の展示など、地域と協働する力も養っています。それらの活動を通して、「自由な発想」・「規律ある生活」・「品格ある言動」を育みます。

○豊かな心の育成
あいさつやルール等の指導、麻布幼稚園との交流学習・六本木アカデミー幼・小中一貫教育を通して、豊かな心を育むことを目指します。

○コミュニティ・スクールとしての学校づくり
麻布幼稚園と連携してコミュニティ・スクールを推進しています。学校運営に地域の方々に参画していただいたり、「地域の先生」として教育活動に参加してもらったりしています。

○光あふれる緑豊かな学校
都心にあって、広い校庭と光あふれる緑豊かな学校です。港区初の人工芝の校庭で、子どもたちが伸び伸び遊び、生き生きと活動できる教育を推進しています。

こんな学校を目指しています

開校149年の歴史と伝統をふまえ、校風を継承発展させて、保護者、地域に開かれた、柔軟で活力ある質の高い教育を進めます。

そして、

６つのK（元気・根気・勇気・和気・やる気・本気）をもって生き生きと学び、活力ある学校を目指します。

○安全で安心して過ごすことができる学校
○保護者や地域に信頼される学校
○チーム（組織）で課題解決していく学校
が実現できる麻布小学校にします。

そのために、全教職員が一体となった教育及び運営に努めるとともに、保護者や地域の人々との連携を深めます。

児童の声

麻布小学校のよいところ
○給食がおいしいところ。
○人（教職員、友達、保護者、地域）がやさしいところ。
○せせらぎ（ビオトープ）など、自然がたくさんあるところ。
○笑顔、あいさつ、生き物を大切にするところ。
○団結力があるところ。
○明るく、元気なところ。
○縦割り班の活動があって、全学年で楽しめるところ。
○いろいろな国の友達がいて、仲良しなところ。
○歴史があるところ。

クラブ活動の紹介

手芸、屋外運動、屋内運動、造形、科学、音楽、ボードゲーム、イラスト

校訓

自由　規律　品格

PTA活動

日々、本校の子どもたちを見守ってくださっています。
○もちつき会　　○防犯パトロール
○通学路点検　　○広報誌「広報あざぶ」「あさのみ」
○給食試食会　　○各種PTA連合行事等

委員会活動の紹介

代表、運動、集会、図書、放送、保健給食、環境

年間行事

１学期
4月　入学式　個人面談（1年生）
5月　個人面談（2-5年生）
6月　学校公開　道徳授業地区公開講座
7月　移動教室（6年生）
〈夏休み〉個人面談　夏季学園（5年生）

２学期
9月　水泳記録会（5.6年生）
10月　学校公開　全日本教育工学研究協議会全国大会発表
六本木フラワーポット（3年生）
11月　開校記念日
12月　学芸会　音楽鑑賞教室（5年生）　PTAもちつき会

３学期
1月　書き初め展
2月　学校公開　6年生を送る会
3月　卒業式

日本語学級

平成30年度から開設しています。日本語学級は、日本語や日本文化を習得するために通級して学習する学級です。2名の教員が個別指導、グループ指導にあたっています。様々な国の児童が在籍し、意欲をもって学習に取り組んでいます。

生活時程

●月～金曜日
8:00～ 8:15　登校
8:25～ 8:40　全校朝会　読書タイム　ふれあいタイム　出張スピーチ
8:40～15:15　授業　中休み　ぐんぐんタイム　給食　昼休み　清掃　下校

校内研究主題

主体的に考え、豊かに表現する児童の育成
―ICT機器を利活用した授業デザインを通して―

特色ある教育活動

異学年での「縦割り班遊び」

伝統を引き継ぐ「高学年鼓笛隊」

給食のおいしさをPR「食育」

地域清掃活動「ちょこボラ」

防災協議会と共催の「防災講習会」

都会で体験「田植え」

心を一つに「学芸会」

幼・小中一貫教育「幼稚園との交流」

地域を花でいっぱいに「kids flower 六本木」

かけ声合わせて「もちつき会」

伝統文化にふれる「茶道教室」

日本語や日本文化を習得するための「日本語学級」

なんざんしょうがっこう

南山小学校

校名の由来

- 南山（長寿・強さ・壮大の象徴の中国の山）
- 内田山（校舎の建つ丘）の南側
- 皇居の南丘に建つ学校
- 老僧「南山様」を敬う気持ち

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	今村　剛司
所 在 地	港区元麻布3-8-15
電話番号	3403-5773
HPアドレス	https://nanzan-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/nanzanes
交　　通	大江戸線・南北線 麻布十番駅 徒歩7分 日比谷線　六本木駅　徒歩7分
職 員 数	23名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	2	2	2	2	2	2	12
児童数	46	49	45	54	51	46	291

教育目標

○じょうぶで明るい子
○よく考え最後までやりぬく子
○友だちとなかよく協力する子

学校の沿革

明治　９年12月　第二大学区第二中学区第二十七番公立小学南山学校開校
昭和22年　４月　港区立南山小学校と改称
平成28年11月　開校140周年記念式典挙行
平成28・29年度　港区教育委員会研究パイロット校指定
平成29年　４月　English Support Course設置
令和　３年11月　開校145周年記念児童集会開催
令和　４・５年度　港区教育委員会研究奨励校指定

総合的な学習の時間

各学年共通
○私たちの暮らす地域を知り学ぶ
　様々な人が暮らす私たちの町、住みよいまちづくり、世界の人々とのつながり
○日本の文化・伝統を学び体験する
　隈取り、江戸小紋、風呂敷、茶道、箏、能、正月遊び、百人一首など
○情報モラルを身につける
　インターネットの活用とモラル、検索、著作権、写真撮影、南山SNSルールなど
○SDGsについて考え、取り組む『増やそう、減らそう』（ビオトープの設置）
　持続可能な社会に向け、守り育むもの、省き減らすものについて考える

3年生
○わたしたちの住む町を知ろう
　地域巡り、地域のためにできること、地域マップ・安全マップ作りなど
4年生
○みんなが生きる町について考えよう
　住みよい町とは、疑似体験学習（車いす・白杖体験、障がい者との町歩き）、世界の人々との交流など
5年生
○環境問題について考えよう『THE みなエコ大作戦』
　身の回りの環境問題、ビオトープづくり（マイスクールPRコンペティション参加）、エコ活動の取組、田植え・稲刈り体験など
6年生
○将来について考えよう『夢育プロジェクト』
　職業調べ、職場体験、移動教室、学びのプレゼン・報告会の実施

学校の特色

○創立147年の歴史と伝統を受け継ぎながら、地域麻布十番商店街と六本木新都心開発とともに育ち、緑豊かな自然の中に校庭が広がっています。静かで落ち着いた環境と地域の協力の中で、子どもたちは伸び伸びと育っています。
○ESC設置により、外国人児童と日本人児童との、日常の様々な交流の機会を通じて豊かな国際感覚を養っています。すべての児童にとって、多様な文化や価値観に触れながら、寛容・協力・共生の精神が育ち、未来に生きる課題解決能力が向上しています。
○南山スタイル「学びのスタンダード」に全校で取り組み、交流活動を通して思考力・判断力・表現力を追究し、主体的に学びに向かう態度を育てています。
　＊学びのスタンダード：「授業の始めと終わりに挨拶をします」「よい姿勢で座ります」「『声のものさし』に合わせた大きさで話をします」「最後まで静かに話を聞きます」「字をていねいに書きます」「名前を呼ばれたら『はい』と返事をします」「必要な学習用具は前日までに用意します」「宿題や家庭学習に取り組みます」「どの学級も学習規律を守ります」

こんな学校を目指しています

どの子も伸びる　学びの南山小
～　いかそう　みがこう　きたえよう　心と体と知識・技能　～

子ども中心に考え、組織の力で課題解決を図る学校
○子どもたちの笑顔があふれる学校
○保護者・地域が誇れる学校
○教職員が伸びる学校

【目指す学校像】
安全・安心な環境の中で、自他を認め合いながら、自己実現できる学校
○安心して学べる学校
○元気な明るい声が響く学校
○多様性を尊重する学校

【目指す子ども像】
自ら学び、考え、判断し、表現できる子
○他者のよさや考えを認められる子
○主体的に自分の考えを伝えられる子
○たくましい心と体をもった子
○自ら考え、行動できる子

【目指す教職員像】
常に、子どものよりよい将来の姿を見据える教職員
○明るく元気な教職員
○高い専門性を身に付けた教職員
○豊かな人間性を備えた教職員
○人権感覚に優れた教職員

児童の声

○南山の森やビオトープなど豊かな自然があり、広い校庭で元気いっぱい遊べます。
○縦割り班活動で学年が違っても仲がいい。
○バリエーション豊かな手作り給食が毎日楽しみ。
○いろいろなバックグラウンドをもった人が集まるので楽しい。

保護者・地域の声

○都会のど真ん中にありながら四季の移ろいを感じさせる南山の森はオアシスそのもの。
○幼稚園が敷地内にあったり、国際学級があったりして様々な人との交流を通じて、人を大切にする心が育っています。
○学年を超えて全校児童の仲がよく、特に高学年が低学年の面倒をよく見てくれてうれしい。

特色ある教育活動

徳 友だちとなかよく協力

○自分を大切にし、他者を思いやる心の育成
○協調性と規範意識の醸成
　・全教育活動を通した道徳教育の充実
　　（カリキュラム・マネジメント）
　・生活指導の充実
　・特別活動の充実
　＊本物に触れる（校外学習・ゲストティーチャー）

縦割り班活動

幼稚園との交流

学芸会

箱根移動教室

知 よく考え最後までやり抜く

○生きて働く力の確実な定着
　・学習指導要領の趣旨徹底
　・家庭教育との連携
○21世紀型考える力の育成
　・プログラミング教育（情報モラル）
　・SDGsを目指す教育活動
◎校内研究の充実
　＊[Nanzan Style] の定着
○地域から学ぶ
　・十番商店街、大使館、企業

校外学習

田植え教室

職場体験

生成AI授業

体 じょうぶで明るく

○運動を愛好し、基本的な生活習慣の確立
　・正しい食習慣・食育の充実
　・望ましい生活リズムの確立
　・体育授業の充実
　・体育授業の充実
　・コオーディネーション・トレーニングの導入
　・ボルダリングウォールの活用

キッズアスレティックス

フランス料理を楽しむ会

体力アップタイム（大縄）

運動会

特別支援教育の推進

○特別支援教室での指導の充実
　・一人一人の特性や発達に応じた指導の充実
　・個別指導と小集団指導の効果的活用
○誰もが「分かる」「できる」「楽しい」と実感
　・通常の学級、保護者、関係諸機関との連携
　・校内特別支援委員会の充実
　・個別の教育支援計画と個別の指導計画の適宜見直し

国際理解教育、日本の伝統文化体験

○2020レガシーの継承
　（アスリートとの交流など）
○英語を用いたコミュニケーション能力の育成
○伝統文化に触れる、体験する場や機会の設定
　（隈取、江戸小紋、和作法、茶道、和楽器、正月遊びなど）
○地域及び企業等と連携した教育活動

English Support Course

　南山小学校の通常の学級に外国人児童を受け入れ、英語力の高いEnglish Support Teacher（EST）を各学年に1名配置します。講師は、外国人児童のサポートを行い、国語・算数などは、英語を用いて別途授業を行います。日本人児童・外国人児童の双方が、学習や遊びを通して多様な文化や価値観に触れ、楽しく学びを深めています。
○入級条件：数年間の日本滞在を予定している港区在住の外国人児童（外国籍のみ）で、英語能力を有すること
○受入児童数：１学年10名以内（受け入れる学級を固定し、外国人児童が安心して学べるようにしています）

ほんむらしょうがっこう

本村小学校

校名の由来

江戸時代前にこの辺り一帯を元村（もとむら）と言っていたのが、本村（ほんむら）と呼ぶように変わりました。麻布の中心という意味とも言われています。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	山﨑　高志
所 在 地	港区南麻布3-9-33
電話番号	3473-1462
HPアドレス	https://hommura-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/honmuraes
交　　通	日比谷線　広尾駅　徒歩10分
	南北線・大江戸線　麻布十番駅　徒歩15分
特別支援学級	知的障害（若竹学級）　固定学級
職 員 数	29名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学　級	2	2	2	2	2	2	3	15
児童数	57	70	58	61	50	64	18	378

教育目標

○すすんで学ぶ子
◎ひとの気持ちを考える子
○体をきたえる子

学校の沿革

明治35年　4月　東京市本村尋常小学校開校
昭和22年　4月　港区立本村小学校と改称
昭和34年　3月　鉄筋３階建て校舎になる
平成　3年　3月　新校舎改築（現在の校舎）
平成14年11月　開校100周年
平成22年　2月　屋上に太陽光発電装置を設置
平成24年11月　開校110周年
平成25・26年度　港区教育委員会研究奨励校
平成28年12月～　校庭改修（人工芝）
平成29年10月　開校115周年
令和　2年　8月　全館LED工事
令和　3年11月　港区教育委員会研究奨励校研究発表
令和　4年11月　開校120周年記念式典
令和　4年11月　地域学校地域協働本部設置

総合的な学習の時間

○子どもが自ら課題を見付け、自ら学び主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を育てます。
○企業や地域と連携したキャリア教育を充実させ、子どもたちの夢の実現を応援、支援したり、自分の進路を自分で決めていく主体性を育みます。

学校の特色

○基礎・基本の知識や技能を定着させ、思考力・表現力を育成します。
・主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の活動を取り入れた協働的な学習を通して思考力・判断力・表現力を育成し、創造性を伸ばします。
・体験的な活動を取り入れたり、外部講師を招いたりして授業を充実させ、実感を伴った問題解決活動を通して理解が深まるように導いていきます。
・ICTを活用した学習活動を積極的に導入し、情報活用能力の伸長を図り、学習効果を高めます。
・幼・小中一貫教育を念頭に入れ、本村幼稚園、笄小学校、高陵中学校による高陵アカデミーの連携を充実させ、円滑な就学及び教育活動ができるように努めています。
○児童理解と児童の心の絆を大切にし、豊かな心を育成します。
・異学年交流をはじめ、若竹学級や併設幼稚園、近隣保育園、中学校などの異校種との交流活動を行い、豊かな人間関係を育んでいきます。
・インターナショナルスクールや各国大使館などと交流を行い、いろいろな文化を知ることで、相手を尊重し、協力しようとする意欲を育てます。
○安心で安全な学校を目指します。
・本村小地区防災協議会と連携を図り、地域防災訓練や安全教室、地域安全マップの作成など具体的な体験活動を通して、児童自ら安全意識を高められる教育を行っています。
・施設設備の安全点検を計画的に実施しています。また、PTA などの協力のもと地域安全パトロール、通学路点検を実施し、不審者対策・交通安全対策も行っています。地域全体で子どもたちの安全を見守っています。

こんな学校を目指しています

○幸せな（わくわくする）学校
今日が楽しく、明日も来たい（期待）学校を目指します。
○基本方針
・本物に触れる体験と多様性な交流を通して本校の教育目標を達成します。(児童の最新の授業を提供します)
○重点取組　人権教育に根差したやさしい心を育むとともに、規範意識を醸成する学校づくりに取り組みます。
(1) 自分を大切にするとともにお互いのよさを認め合い協力できる児童を育てます。
・「あんぜん、あいさつ、あつまり、あとしまつ」の４つの「あ」を重視します。
・毎月の生活アンケートによる未然防止・早期発見・早期対応を徹底し、いじめ防止に取り組みます。
(2) 多様性を生かした教育活動を推進します。
・併設の本村幼稚園と合同運動会、給食、授業等を通して日常的に交流します。
・若竹学級（特別支援学級）、なでしこルーム（特別支援教室）を充実させます。
・縦割り班活動を通してやさしい心を育てます。
(3) 規範意識を醸成します。
・本村スタンダード・本村SNSルールを徹底します。
・特別活動を充実させ、自分で考えて行動する児童を育成します。

児童の声

○広い校庭なので、いろいろな遊びができます。また、なかよし班活動やクラブで違う学年と交流したり、本村幼稚園の幼稚園生とも休み時間に一緒に遊んだりなどして、同じ学年以外のたくさんの人と仲良くなれます。
○給食では家では出てこないメニューが出ます。味もおいしいです。セレクト給食など委員会が考えたイベントや集会もあり、毎日楽しみです。
○ロング昼休みがとても楽しみです。校庭で友達と長い間遊ぶことができるからこそ、授業への切り替えもできます。

保護者・地域の声

○運動会、音楽会、児童集会などで一人一人が活躍している姿が見られ、とても嬉しいです。
○ゲストティーチャーを招いた様々な授業や読書チャレンジ、保護者ボランティアによる読み聞かせ等、子どもの心が豊かになる体験をさせていただいています。
○各国大使館やインターナショナルスクールなどと交流し、色々な文化を体験することができます。

課外活動も充実

本村小学校には、PTA 公認友好スポーツ団体として4つのクラブがあります。「バスケットボール」「野球」「サッカー」「チアダンス」です。区や東京都の大会に出場し、優秀な成績を修めています。

体力づくり

年間を通じて、体つくり運動や縄跳び等を行い、子どもたちの体力増進や運動習慣を高めます。

運動委員会の企画による的あて

充実した学校設備

プールは室内にあり、水泳学習の時間を楽しみにしています。人工芝の美しい校庭で毎日元気に遊んでいます。

オープン教室

校庭(人工芝)

体育館(冷暖房完備)

室内温水プール

なかよし班活動

1～6年生の異学年交流に取り組んでいます。昼休みを活用して、異年齢集団によるなかよし班遊びでは、6年生を中心に企画して遊び、学年の枠を超えて仲良くなります。

なかよし班話し合い

交流活動の充実

アカデミー校の高陵中学校との挨拶運動や、笄小学校との高陵地区スポーツ交流等の活動がとても充実しています。

伝統ある学校

令和６年度、本村小学校は、開校122年を迎えます。明治35 年に開校してから卒業生も1万2千人を越えます。

本村幼稚園との交流の充実

併設の本村幼稚園とは行事、遊び等年間を通して日常的に交流しています。

園児との交流リレー

豊富な体験学習

企業や地域の方を招いてのキャリア教育、近隣のお店との交流、体験的な学習を多く行っています。

キャリア教育

学童クラブの紹介

本校には、学童クラブや、放課後子どもを預かる放課GO→ほんむらが充実しています。学校敷地内に設置されていますので、移動も安全です。児童は最大19 時まで学童クラブに滞在でき、保護者の方も、安心して働くことができます。

笄小学校

こうがいしょうがっこう

校名の由来

①昔、天慶の乱（939年）、武士が龍川を渡るとき、見張りの武士に通行を断られたため、味方の証拠として刀の「笄」を与え、敵意のないことを示し、渡ることができました。この後、「笄橋」と呼ばれるようになりました。
②甲賀・伊賀の屋敷がこの地にあり、龍川の橋の名を甲賀伊賀橋としたことから、後に「こうがい橋（笄橋）」と呼ばれるようになりました。
この笄橋にちなんで、笄町となり、笄小と名付けました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	矢部　洋一
所 在 地	港区西麻布3-11-16
電話番号	3404-1530
HPアドレス	https://kougai-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/kogaies
交　　通	日比谷線　広尾駅　徒歩7分
職 員 数	40名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本語	合計
学　級	3	3	3	3	3	3	2	20
児童数	86	74	95	80	90	84	―	509

教育目標

気づき　考え　進んでおこなう　笄の子ども

学校の沿革

明治40年	東京市笄尋常高等小学校開校
明治41年	東京市笄尋常小学校と改称
大正15年	鉄筋校舎落成
昭和11年	校舎改築、校歌制定
昭和16年	笄国民学校と改称
昭和22年	港区立笄小学校と改称
昭和51年	校舎改築
平成　3年	日本語学級設置
平成15･16年度	港区教育委員会研究奨励校
平成19年	開校100周年記念式典挙行
平成21･22年度	港区教育委員会研究奨励校
平成24･25年度	港区教育委員会研究奨励校
平成28･29年度	港区教育委員会研究奨励校
平成29年	全国学級経営研究大会、東京都学級経営研究大会、道徳教育推進拠点校、開校110周年
令和元年	体育館冷暖房設置
令和 5年	3階学習室　普通教室化工事

総合的な学習の時間

○「国際理解教育授業」では、国際性豊かな地域の特色を生かしながら、外部講師をお招きするなどして国際理解教育に取り組んでいます。令和６年度も大使館と連携して外国の方との交流を行います。外国の文化を学ぶとともに自国のよさについて学んでいくことで、広い視野で物事を捉える国際感覚を身に付けます。

学校の特色

○外国人児童や帰国児童が、日本の文化や言葉を習得するために、「日本語学級」を設置しています。
○国際性豊かな地域性を生かして、世界の人や文化を理解し、尊重する態度を育成するために「国際理解授業」を行います。
○地域の特色を生かして体験型・参観型の美術館教育を取り入れ、豊かな感性を培います。
○６年生全児童が「笄鼓笛隊」を編成し、全校朝会や行事で演奏活動をしています。
○「キャリアパスポートデー」では、多くの企業による出前授業を通して、児童に勤労観・職業観を形成させていきます。

こんな学校を目指しています

教育目標「気づき、考え、進んでおこなう笄の子ども」
○児童が自ら考え、表現する機会を大切にします。
○「話すこと・聞くこと」の研究成果を他教科の指導や学級経営に生かします。
○「感動ある体験」や「コミュニケーション」を大切にして、子どものやる気（挑戦意欲）を育てます。
○多様性を理解し、人権を傷付ける行為は絶対に許さない学校風土をつくります。
○体育授業を中心に体力向上に努めるとともに、健康・安全教育を推進します。
○コミュニティスクールを発足し、保護者や地域から「信頼される学校」「地域とともにある学校」を目指します。

児童の声

○あいさつを笑顔ではっきりできます。
○毎週全校朝会で、６年生の鼓笛隊演奏に合わせて、全校児童で校歌を歌います。
○なかよし班活動で、他の学年の子と交流しています。
○キャリアパスポートデーや、国際理解教育など、様々な授業があります。
○先生たちが子どもたち一人一人と向き合ってくれて、授業も楽しいです。

クラブ活動の紹介

児童は11あるクラブの中から、自分の興味・関心に応じたクラブを選択し、自ら主体的に計画を立て、お互いに協力して活動に取り組んでいます。

校内研究主題

伝え合い、学び合う児童の育成
～話合いを通して～

令和６年度は国語、算数、体育の分科会に分かれ、校内研究を進めます

日本語学級

日本語や日本文化を習得するための学級です。２学級３名の教員が個別指導、グループ指導にあたっています。様々な国の児童が在籍し、各自が学習に取り組んでいます。

児童会活動の紹介

毎月１回、水曜日の６校時に委員会活動を行っています。それぞれの委員会ごとに、自分たちの役割に責任をもって取り組んでいます。代表委員会は高陵アカデミー子どもサミットに参加し、本村小学校・高陵中学校と協力して、学校全体でできることなどを話し合い、実践しています。第１回港区マイスクール・コンペティションで最優秀賞をいただきました。

学校生活の様子

運動会

鼓笛隊

体育朝会

キャリアパスポートデー

あいさつ運動

国際理解授業

ひがしまちしょうがっこう

東町小学校

校名の由来

善福寺の門前町の東に位置することから、町の地名を東町としました。そして、その地域の学校として東町小学校となりました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	橋本　勇一
所 在 地	港区南麻布1-8-11
電話番号	3451-7726
HPアドレス	https://higashimachi-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/higashimachies
交　　通	南北線　麻布十番駅　徒歩５分
	大江戸線　麻布十番駅　徒歩10分
職 員 数	26名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	2	3	3	3	3	2	16
児童数	62	76	81	72	78	77	446

教育目標

○明るい子　　○よく考える子
○やりぬく子　　○思いやりのある子

学校の沿革

大正　2年11月	東町尋常小学校開校
昭和20年　5月	戦災により校舎全焼
昭和21年　3月	廃校となり本村小学校で合併式挙行
昭和30年　4月	本村小学校で復興開校式挙行
昭和30年　7月	新校舎（現在地）へ移転
平成12年	南海小学校からつぼみ学級移転
平成17･18年度	港区教育委員会研究パイロット校
平成24年	English Support Course設置
平成25年11月	開校100周年記念式典挙行
平成25･26年度	港区教育委員会研究奨励校
平成28年　4月	プレハブ新校舎建設
平成31年　3月	つぼみ学級閉級
令和5年11月	開校110周年記念式典挙行

総合的な学習の時間

○3年生以上の学年で実施
・見付ける力　・計画する力　・調べる力
・伝える力　・まとめる力　・振り返る力

以上の力を育てることをねらいとします。
○内容
・地域　・環境　・福祉　・情報　・国際　・自己
上記の各内容を設定し、各学年ごとにテーマを決めて学習します。
＜主な内容＞
3年生・・・「わが町・東町」地域探検　・地域安全マップ
4年生・・・自然災害に備えよう　・10年を振り返ろう
5年生・・・国際理解　世界と日本の比較
6年生・・・移動教室に向けて　情報安全について

学校の特色

○ESC 設置校として、外国の文化や外国語に触れることができる学校環境
（各学年にESTを配置、英文の便りの発行、英語表記の校内環境）
※ESC・・・English Support Course
※EST・・・English Support Teacher
○1年生から6 年生までの縦割り活動（ファミリー活動）を大切にした学校生活
○日本文化の時間（茶道・和太鼓・将棋）を実施
○整備された環境（校庭人工芝・茶室・ビオトープなど）での教育活動
○地域と連携した教育活動

こんな学校を目指しています

安全・安定・安心を大切にしたAAA（トリプルA）の学校を目指します。
○1つめのA…安全な学校
安全を第一に、教職員が常に危機管理意識をもって日々の教育活動に努め、児童自ら自分の安全は自分で守るという意識や態度を身に付けることができる学校
○2つめのA…安定した学校
共感的理解に基づいた生活環境で、児童自ら居心地のよさを感じることができるとともに、学習規律が徹底された学習環境で、学習内容の基礎・基本の定着を図ることができる学校
○3つめのA…安心できる学校
子どもが学校に来ることが楽しみで、保護者が安心して任せられる学校、学校での教育活動が、地域や保護者によく理解され、よりよい教育の実現に向けて、学校・家庭・地域の連携・協力が図られている学校

児童の声

○いろいろな国の友達ができたり、たくさんの外国の文化を知れたりすることができる。
○給食で、世界の国々の料理や調理さんの手作りのパンが食べられる。
○International Assemblyとか、日本文化の時間とか、東町小学校ならではの行事がある。

特色ある教育活動

○国際色豊かな東町小学校の子ども
◇国際理解教育の推進
・教室で外国語に触れる環境づくり
・International Assembly(国際科集会)での発表会
◇異文化理解教育の推進
・人権教育、食育、ゲストティーチャーによる異文化理解
・他国の文化を知ることの学習（生活科・総合的な学習の時間等）
◇外国籍児童への支援
・ESC（English Support Course）での英語による学習
・EST（English Support Teacher）による英語のサポート
○異学年集団活動
◇1年生から6年生までの縦割り班活動（ファミリー活動）を大切にした学校生活
・ファミリー遊び
○日本文化理解
◇日本文化の時間を年間6回実施
・上学年は、茶道、和太鼓、将棋を体験
・下学年は、折り紙、カルタ、動物将棋、百人一首、昔遊び等を体験
○体力づくり
◇人工芝の整備された運動環境
・なわとび月間
・ボルダリング週間
・全児童の体力テスト実施
○地域との連携
◇地域と連携した教育活動の充実
・地域と連携した避難訓練
・夏休みラジオ体操の実施

校内研究主題

「教師が変われば児童が変わる
～児童の安心感を生む授業の工夫～」

English Support Course

東町小学校の通常の学級に外国人児童を受け入れ、英語力の高いEnglish Support Teacher（EST講師）を学年に1～2名配置し英語力の保持を目的として指導を行います。EST講師は、外国人児童に英語を用いて国語、算数などの授業を行います。
○入級条件：2～3年間の日本滞在を予定している港区在住の外国人児童（外国籍のみ）で、英語能力を有すること
○受入児童数：1学年10名以内（令和元年度から、受け入れる学級を学年1学級に固定し、外国人児童が安心して学べるようにしています）

学校生活の様子

国際色豊かな東町小学校の子ども

国際科の授業

ESC (English Support Course)

ファミリー活動（異学年集団での活動）

ファミリー遊び

ファミリー清掃

学校行事

運動会

International Assembly

体力づくり

なわとび月間

日本文化の時間

将棋

茶道

和太鼓

地域と連携して

合同避難訓練

夏休みラジオ体操

青山小学校

あおやましょうがっこう

校名の由来

江戸時代にこの地に屋敷を構えた青山公の領地から、青山の地名がつけられ、その青山で最初の小学校として現在の校名となりました。

学校概要

令和６年５月１日現在

校　　長	可児　亜希子
所 在 地	港区南青山2-21-2
電話番号	3403-5588
HPアドレス	https://aoyama-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/aoyamaes
交　　通	銀座線　外苑前駅　徒歩２分
特別支援学級	知的障害（あすなろ学級）固定学級
職 員 数	21名

学級数・児童数

令和６年５月１日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学　級	1	1	1	1	1	1	4	10
児童数	21	23	20	33	35	25	26	183

教育目標

○やさしい心をもち　なかよくする子
○よく考え　すすんで学ぶ子
○健康で　たくましい子

学校の沿革

明治　8年　9月	南青山４丁目に開校
昭和50年11月	開校100周年記念式典挙行
平成16年　3月	ホタルの飼育を開始
平成21年　2月	ICTを用いた授業実践NEXTプロジェクト発表
平成24･25年度	タブレットPCやデジタル教科書を活用した授業改善の報告会、発表会の開催
平成27年11月	開校140周年記念式典挙行
平成29年度	平成29年度東京都小学校視聴覚教育研究大会
平成29･30年度	港区教育委員会研究奨励校
令和2年度	開校145周年記念集会・音楽会挙行
令和3年度	SDGsに向けた取組み本格始動　風力発電・ソーラー発電・ビオトープ修理完了
令和4年度	虫の楽園が完成
令和5年度	環境省環境教育・ESD実践動画100選認定

総合的な学習の時間

○総合的な学習（を含む全ての学習）は、SDGsの実現に向けて行われます。
○「いじめゼロプロジェクト」は全学年で行います。
【３年生】
・青山の地域、商店や公共施設の学習を通して、地域への愛着心と地域の一員としての自覚を育てます。
・フードロス課題や様々な立場の食に対する取組の学習を通して、食や食文化に対する理解を深めます。
・社会科と連携し、地域に残る昔、文化、歴史を学び、郷土愛を育てます。
【４年生】
・あきるの自然教室での水源林学習やサントリー（株）とのコラボ授業「育」、社会科の学習等とも関連させ、「水」をテーマにした「持続可能な水資源の確保」についての学習を展開します。
・青山特別支援学校との交流学習を通して、共生社会の実現に向けた学習を行います。
・自己の成長をふり返り、自己肯定感を培うとともに、未来への展望をもち、命の尊さや豊かさを学びます。
【５年生】
・港区赤坂地区総合支所と連携して、人にやさしい青山の街づくり人に関する取組について学び、「人権教育」をテーマにした学習と持続可能な取組を展開します。
・年間を通してパルシステムとのコラボ授業「米作り」に取り組み、持続可能な食糧生産について学びます。
・箱根夏季学園の自然体験活動を通し、箱根の自然環境と環境保全に取り組む人々の役割について学習します。
【６年生】
・租税教室や金融教育において、ゲストティーチャーから税金の使われ方や我が国の経済活動の仕組みについて学習します。
・箱根移動教室の学習を通して、箱根の歴史や文化について学びを深め、文化遺産や自然を守る意義を学びます。
・キャリア教育を通して、夢や目標をもち、自己実現のための具体的な道筋を学ぶ中で、進路選択の視点や働くことの意義を理解します。
・地域の方々から空襲や学童疎開についての体験談を伺い、平和学習に取り組みます。

学校の特色

全校児童数が180名程度の小規模校ですが、「青山小学校でしかできない」取組をたくさん行っている学校です。主なものとしては
○校内での異学年交流及び地域との交流学習、月に１回のたてわり班活動
○近隣の様々な企業や団体、地域と連携して取り組む、将来に生きてはたらく体験学習
○専門性を生かした1年生からの音楽・図工の専科授業
○PTA有志、地域の皆様の協力による課外部活動

こんな学校を目指しています

◎人間を愛し、地球を愛し、平和を愛する青山小学校
～持続可能な社会の創り手となる人材を育てる学校～
○学校教育の２本柱
「協働して持続可能な社会を創る力」（ESD）SDGsの実現に向かって。
「他者を思いやり、自らいじめをなくす実践に取り組む力」（人権教育）
○保護者や地域と協働して、言葉を大切にし、互いに認め合い、尊重し合う児童を育成する学校
○一人一人の願いを受け止め、誠意をもって対応する安心・安全、安定した学校
○わかる喜びや学ぶ楽しさを実感できる授業・行事を展開する学校
○児童・保護者・地域と協働してつくる笑顔あふれる、地域に誇れる学校

校門から続く緑の小道「グリーンロード」

児童の声

○校庭がすべて人工芝で、休み時間や体育で思いきり走ったり、遊んだりできます。
○各学年でSDGsに関する学習や取組をしていて、一人一人が地球環境のことを真剣に考えています。
○あいさつ運動やいじめゼロプロジェクトを全校で取り組み、明るく楽しい学校づくりを目指しています。
○たてわり班活動が月に1回あり、学年の枠を越えて仲良くなることができます。
○ブラスバンドでは、地域で演奏することを目標に練習しています。
○放課後にPTAや地域の方が中心となって行う課外の部活動があります。

保護者・地域の声

○学年の枠を超えた交流が盛んで、先生方も児童一人一人に対して迅速にきめ細やかに対応してくれています。小規模校のよさが随所に見られます。
○秋には神宮外苑のいちょう並木、春には青山霊園の桜並木、近くには大きな公園等があり、緑豊かな美しい自然環境の中で学ぶことができます。
○協働・連携可能な企業が近隣に多くあり、SDGsの実現に向けた教育活動が充実しています。

校内研究主題

「物事をより広く、深く考え、自分事として発信・行動できる児童の育成
～青小が行う環境・人権・平和を大切にした持続可能な社会づくりをアップデート～」

特色ある教育活動

○歴史と伝統に支えられて開校149周年
・貴重なものがいっぱいの資料室
・日本の伝統芸能を体験学習
○特別支援学級「あすなろ学級」
・経験豊かな専門の教職員によるきめ細やかな支援体制
○企業や団体と提携した多彩な学習活動
・地域企業のプロスポーツチームを招聘した体験学習と未来の夢についての講話
・周囲に並ぶ大企業への見学や企業体験、コラボ学習
○自らいじめをなくす実践
・児童発信の「いじめゼロプロジェクト」
○交流学習の充実
・高学年児童から低学年児童、保育園児への読み聞かせ
・通常の学級の児童と特別支援学級の児童、特別支援学校との交流
・学習を通した地域の方々との交流活動
○強い絆の「縦割り班活動」
・あいさつ運動、地域清掃、毎月のたてわり班遊び
○ICTを活用した先進の学習活動
・タブレット端末を活用した個別最適化された学習
・デジタル教科書と電子黒板を使ったわかりやすい授業
○地域に根付き、地域との交流の要となるブラスバンドの活動
○主体的な読書活動の推進
・学校図書館司書・学校図書館支援員による学校図書館運営の充実
・保護者や地域の学校図書館ボランティアスタッフによる月1回の読み聞かせ、図書館の環境整備

PTA活動

○放課後部活動
PTA有志と地域の皆様、専任コーチで運営する８つの部活動
○地域との連携
郡上市との田舎夏休み体験交流、地区委員会主催の多様なイベント
（青山みんなで走ろう会・スキー・スケート教室他）
○運動会等の学校行事への支援、青小フェスティバルの実施
○青小図書館ボランティアスタッフ（おはなし青山）による学校図書館の環境整備と読み聞かせ

学校生活の様子

交通安全教室（赤坂警察署）

書き初め会

平和学習（山手空襲朗読会）

青山小部活動（生き物部）

地域企業による環境学習

地域高校生との交流（読み聞かせ）

ブラスバンド演奏

あいさつ運動

せいなんしょうがっこう

青南小学校

校名の由来

当時の青山南町6丁目（現在の所在地）に学校を設置したことから、青南小学校と名付けました。

学校概要

令和6年5月1日現在

校　　長	野口　直樹
所 在 地	港区南青山4-21-15
電話番号	3404-8608
HPアドレス	https://seinan-es.minato-tky.ed.jp/
X(旧Twitter)アドレス	https://twitter.com/seinanes
交　　通	銀座線・千代田線・半蔵門線　表参道駅　徒歩5分
職 員 数	36名

学級数・児童数

令和6年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学　級	4	4	4	4	3	3	22
児童数	108	136	129	106	104	104	687

教育目標

○よく考える子
○思いやりのある子
○体をきたえる子

青南小学校の教育目標

学校の沿革

明治39年　9月	青南小学校開校
明治39年11月	開校式典挙行
明治41年　4月	青南尋常小学校へ
昭和11年　4月	新校舎落成
昭和16年　4月	青南国民学校へ
昭和22年　4月	港区立青南小学校へ改称
昭和56年11月	新校舎落成
平成18年11月	開校100周年
平成19･20年度	港区教育委員会研究奨励校
平成25年　4月	東京都理数フロンティア校
平成27年　3月	第2校庭拡張工事完了
平成28年11月	開校110周年
平成29年10月	体育館天井改修及び冷暖房設置
平成30年10月	校庭人工芝工事完了
令和3年11月	開校115周年

総合的な学習の時間

○自己の生き方につながる学びを児童自らが経験できるようにする。「かかわり」「体験活動」を基本とし、課題設定をし、意欲的に探究し、学び得たことを伝え、生かしていく。
3年生　地域の特色・キャリア教育に基づいた課題
4年生　自然科学教育・キャリア教育に基づいた課題
5年生　食育・キャリア教育に基づいた課題
6年生　環境教育・キャリア教育に基づいた課題

学校の特色

○南青山の緑に囲まれた環境の中で、国内外に著名な文筆家や芸術家、政財界で活躍する多くの先輩を輩出する118年の歴史と伝統のある学校です。
○全22学級の全校児童を42班に分けた縦割り班で集会活動や集団遊びを行うなど、学年を超えての交流を推進しています。
○外部の専門家や地域の人材・保護者や関係機関と連携を図り、文化・芸術施設を活用し、感性を豊かに育てるための多彩な体験活動を大切にしています。
○理科・生活科教育の推進に力を入れ、理科公開講座を開催しています。「くらしに見付け　くらしに広げる　理科・生活科学習　～もう一度　やってみようためしてみよう～」をテーマに、学校・家庭・地域が連携した自然・科学とのかかわりを重視した内容を取り入れています。

こんな学校を目指しています

○子どもたちが心豊かに、知性にあふれ、心身ともに健康に育っていくために「学力の向上」「社会性の育成」「健康な心や体」を実現するための教育活動を展開します。
○「いつでもどこでも国際人 青南の子」をキャッチフレーズに、青南小学校のよき伝統を受け継ぎ、心身共に健康で、国際社会で信頼される人間の育成を目指します。
○10年後20年後を見据え、次の3つを柱として人間力～人として生涯にわたり自立・自律・協働し、生き抜いていく力～の育成を目指して教育活動を行います。
＜徳＞自分を大切にすると共に相手も大切にすることができる子どもの育成
＜知＞自ら思考判断し、表現する子どもの育成
＜体＞運動の楽しさを実感し、進んで体力向上に努める子どもの育成
この3つの力が調和し、毎日、自分を振り返り、『自分自身にありがとう』と言える児童を育むことにより、「いつでも　どこでも青南の子」が実現します。

児童の声

○よりよく、より楽しい学校づくりを目指し、代表委員児童や6年生が中心となり、様々な特別活動を主体的に行っています。
○令和5年度開校117周年行事は、代表委員会を中心に計画・運営を行っていきます。
○縦割り班活動が充実しています。例えば、朝に正門前に立ち、登校する人にあいさつをし、笑顔を広げる「あいさつ運動」を行っています。地域の方々とも自然にあいさつを交わしています。この運動を行うことで、朝から気持ちよく学校生活を送ることができます。
○自然豊かな学校です。OB・OGやPTAの方が中心となって活動している「青南ガーデニングクラブ」があり、学校の周りは四季に応じた素敵な花がガーデニングされています。また、ミニ日本庭園にある池には、たくさんの鯉が泳いでいます。大きな2本の桜やくすのきなど、私たちを見守ってくれています。
○とてもおいしい給食を食べられます。いつも楽しみです。
○理科・生活科の授業で、様々な実験や観察、活動ができます。3年理科の学習では、チョウの成長を身近に学ぶことができました。
○卒業生には、中村草田男さん、オノ・ヨーコさんなど多くの著名人がいます。毎年2月には「草田男展」があり、全校で俳句を作っています。

クラブ活動の紹介

体育館運動、卓球、ソフトボール、iPad、
科学・実験、伝統文化 、イラスト・マンガ、アート、
ボードゲーム、サッカー、ダンス、研究、手芸

児童会活動の紹介

BSC（代表委員会）、計画委員会、音楽委員会、放送委員会、図書委員会、保健委員会、給食委員会、運動委員会、栽培委員会、環境委員会、集会委員会、広報委員会

特色ある教育活動

○学力の向上
・一人一人が何を学ぶかを意識し、何を学んだかを自覚できるようにする
・課題発見と解決に向け、主体的な学び・対話的な学び・深い学びを取り入れていく
・算数科では少人数指導を実施し、「考える力」「活用する力」を育て、学ぶ楽しさを味わわせる授業を展開する
・理科教育の推進
・体験的な学習を積極的に取り入れる
・読書指導：「青南100冊」の活用
・読書マラソン
・本物にふれる：青南文化芸術サロン構想

○社会性の育成
・あいさつを重視した教育活動の展開（「あいさつと笑顔あふれる青南小学校」）
・縦割り班を活用した異学年交流
・青山アカデミー（青南小学校・青南幼稚園・青山小学校・青山中学校の交流活動）
・さわやか活動（ボランティア活動）
・生き方を学ぶ（キャリア教育）
・自治的自発的活動（特別活動の充実）
・縦割りあいさつ運動
・特別活動の充実

○健康な心と体
・運動する楽しさに気づき、自ら課題解決できる体育学習の充実
・生活習慣の確立：「早寝・早起き・朝ご飯」
・食育の推進（理科教育との連携）
・安全（防災・交通・不審者・生命の尊さ）に対する指導
・いじめ防止への取組の重視

○地域・保護者・関係機関と連携した多彩な活動
・金管バンド「Blue Heart」
・青南SC（陸上を中心とした運動クラブ）
・おはなしポケット（保護者による読み聞かせ）
・青南ガーデニングクラブ（ボランティアによる植栽の充実）

ICTを活用した授業

縦割り班活動

読書指導「青南図書館」

地域との交流学習

校内研究主題

「目的をもって話したり聞いたりしながら、自ら話し合いを進めていこうとする児童の育成～「話すこと・聞くこと」の指導を通して～」
教科：国語科

年間行事

○運動会
○展覧会
○開校118周年記念日：11月18日（月）

学校生活の様子

★青南小学校【ホームページ：https://seinan-es.minato-tky.ed.jp/】
【X(旧Twitter)：https://twitter.com/seinanes】で学校の様子を紹介しています。

X(旧Twitter)
https://twitter.com/seinanes

PTA活動

子どもたちのために、いつも本当にありがとうございます。